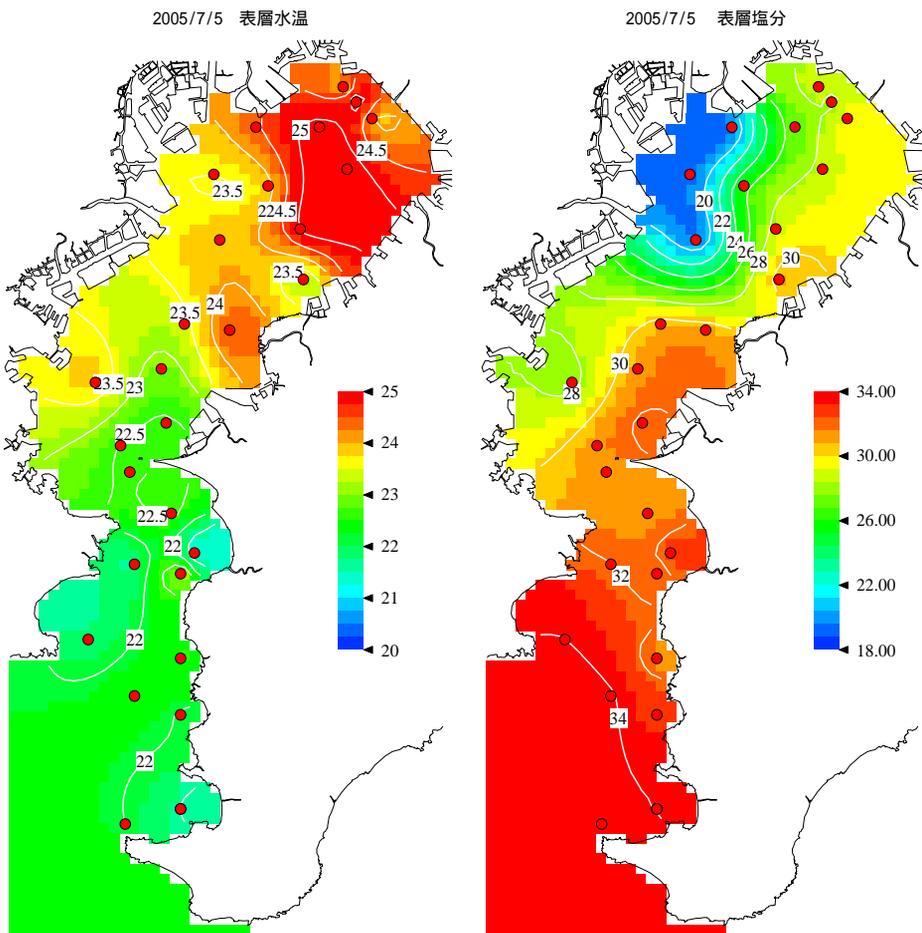


# 東京湾海況情報 17-04

東京湾水質調査結果(平成17年7月分)

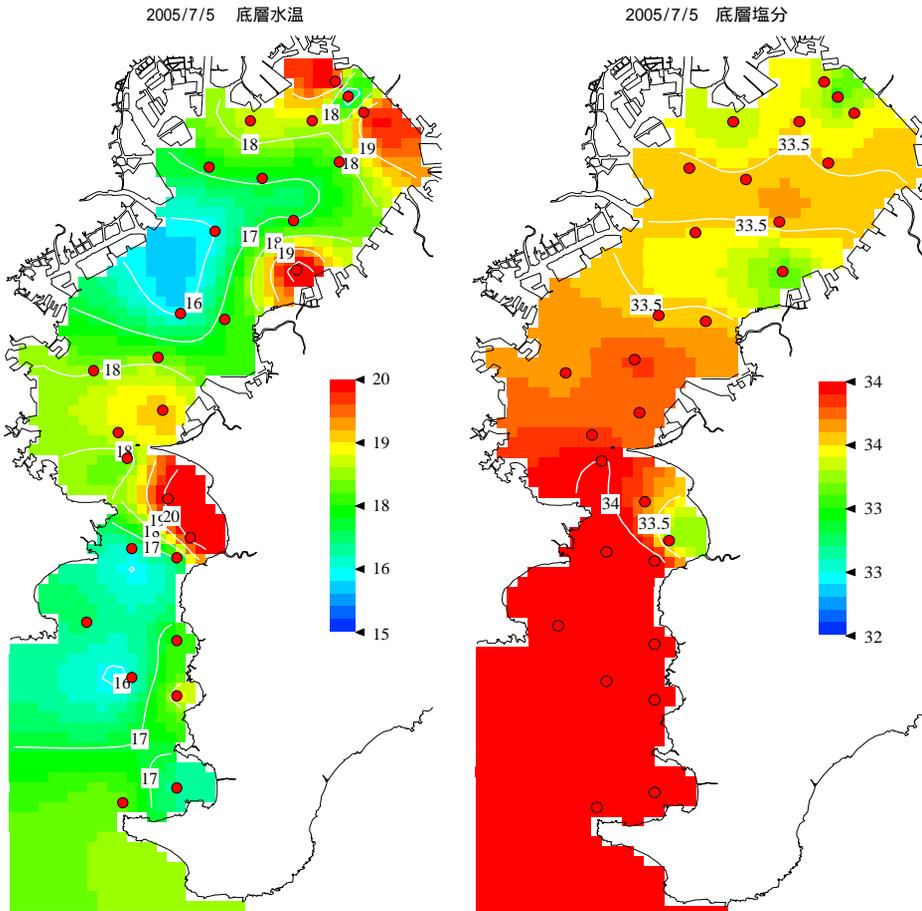
平成17年7月12日  
 千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 〒293-0042 富津市小久保 3091  
 TEL 0439-65-3071 FAX 0439-65-3072  
 E-mail [futtsu-gk@mz.pref.chiba.jp](mailto:futtsu-gk@mz.pref.chiba.jp)

## 東京湾水質調査結果(平成17年7月分)



表層水温

表層塩分



底層(または50m)水温

底層(または50m)塩分

図1 東京湾の水温・塩分分布

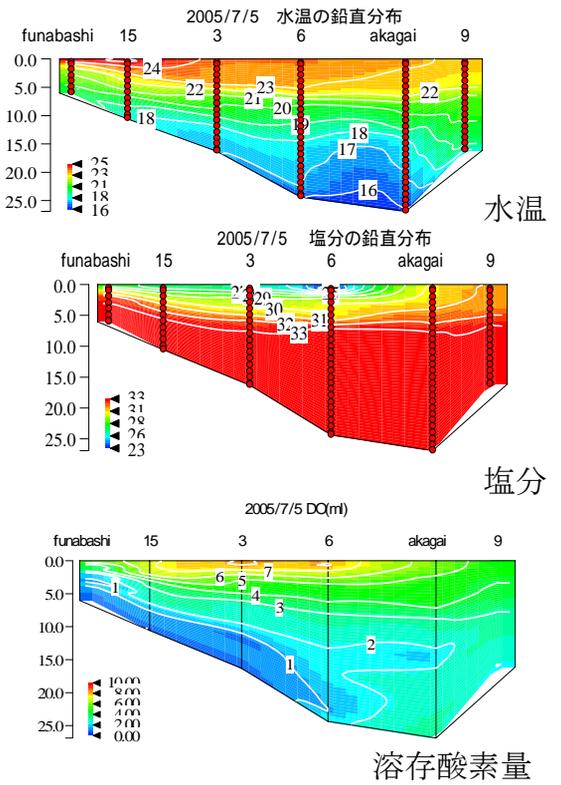


図2 内湾の鉛直分布

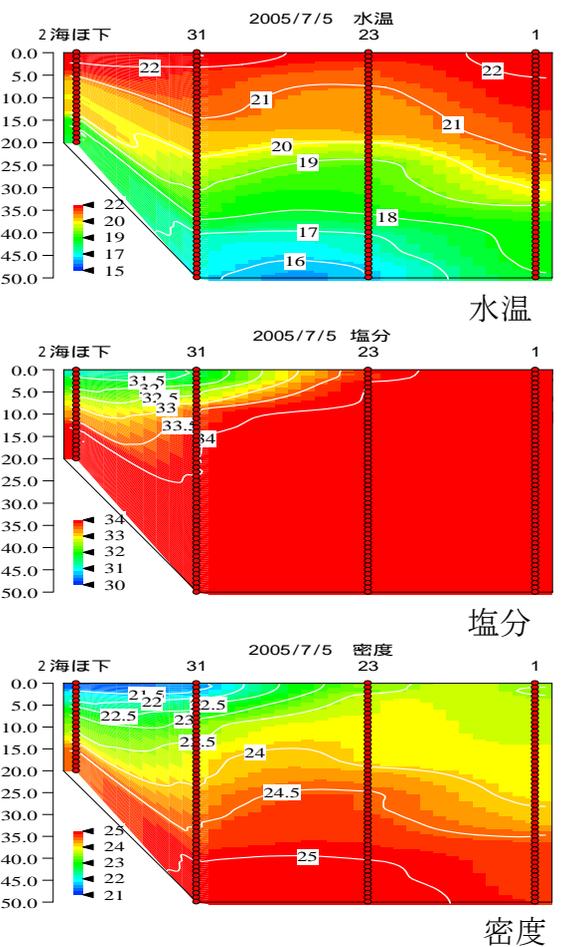


図3 内房海域の鉛直分布

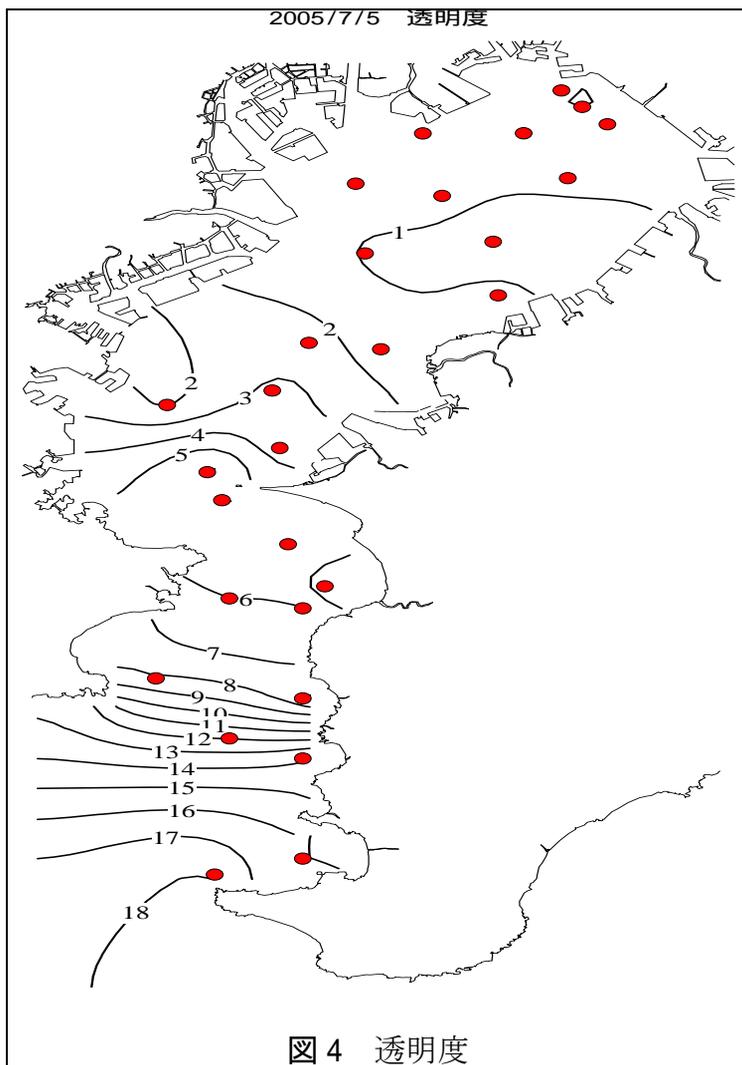


図4 透明度

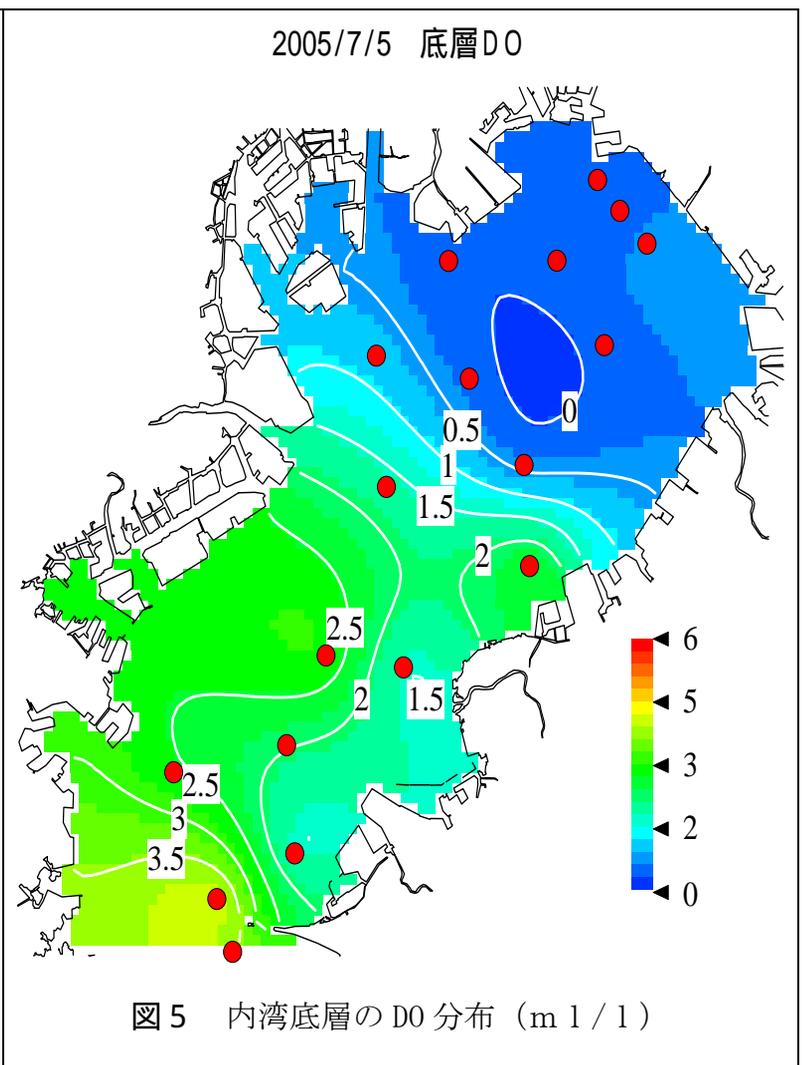
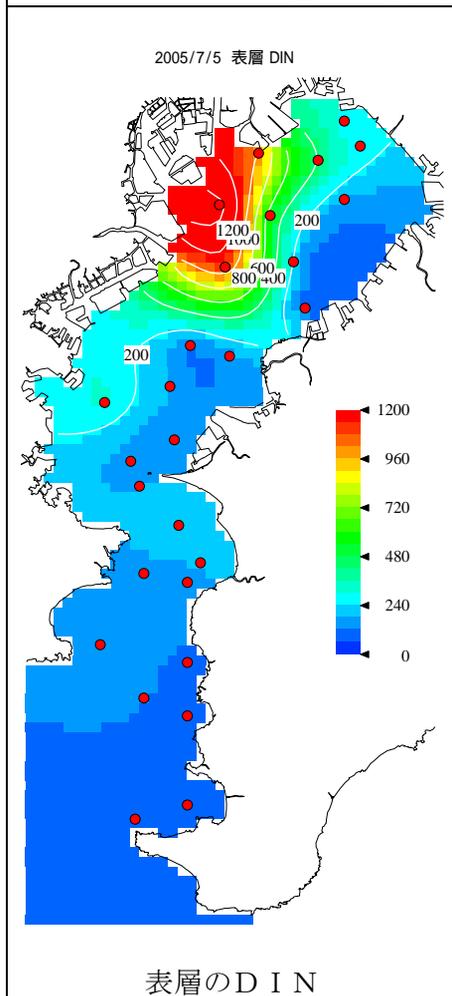
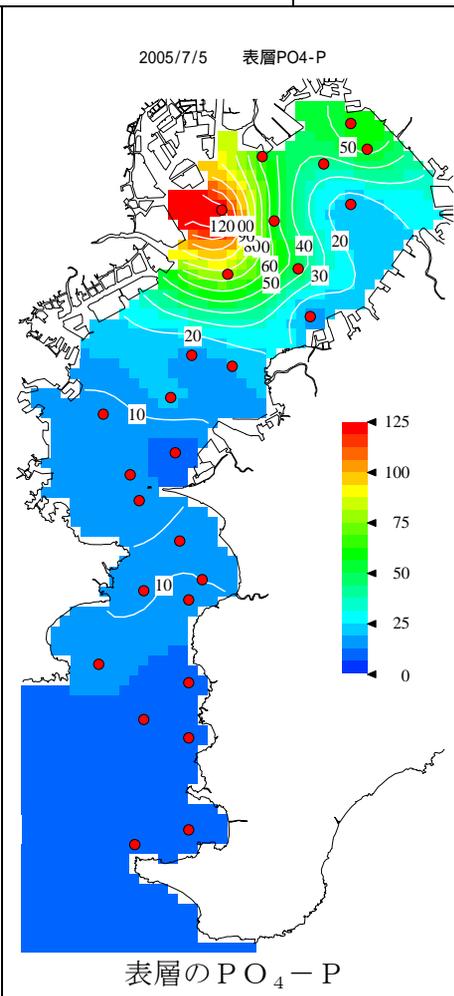


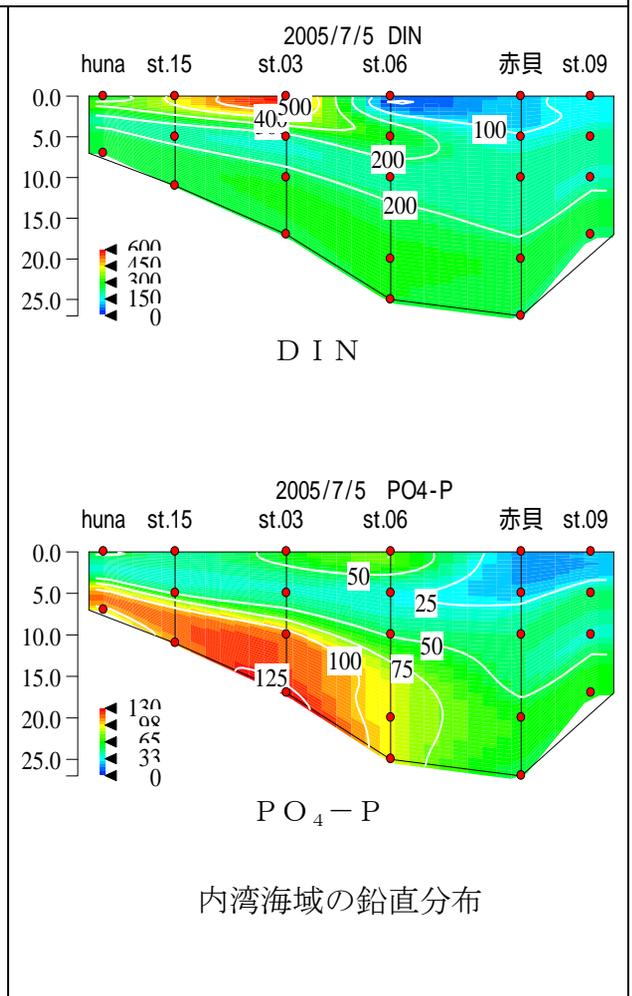
図5 内湾底層のDO分布 (m l / l)



表層のDIN



表層のPO<sub>4</sub>-P



内湾海域の鉛直分布

図6 東京湾の栄養塩分布

水温・塩分の状況 (図1~3, 表1)

7月に入って水温はさらに上昇し、内湾海域表層で **23~25°C** 台、内房海域表層で **22~23°C** 台となっておりますが、内湾海域では平年より **1~1.5°C** 低く、内房海域では平年並みからやや低めでした。また、表層の

塩分は、3 日夜から 4 日にかけてややまとまった雨が降った影響で東京港内を中心に塩分の低下が大きく、北部海域は 25%以下の水塊に広く覆われました。

### 赤潮の状況

今回の調査では湾中央部を中心に渦鞭毛藻のプロロセントルム (*Prorocentrum minimum*) の単独赤潮が発生しておりました。北部沿岸部は淡水の流入で分布が抑えられたと考えられ、また、盤州以南では同じ渦鞭毛藻のケラチウムフーサス (*Ceratium fusus*) が多くみられました。いずれのプランクトンも生物への影響は少ない種類です。

「千葉県赤潮の目安(内湾)は...色: オリーブ~褐色, 溶存酸素の飽和度: 150%以上, 透明度: 1.5m以下, pH: 8.5 以上, クロロフィルa量: 50 μg/l 以上としています。」

### 栄養塩類 (図6, 表1)

表層の溶存無機態窒素 (DIN) は河川水の影響で東京港から北部沿岸域で高く、その他の内湾域も 200 μg/l 前後と 6 月より増加していました。また、リン酸態リン (PO<sub>4</sub>-P) も内湾・内房海域とも増加傾向を示していました。

### 貧酸素水塊の状況 (図2, 5, 表1)

今回の調査結果では、図5のとおり木更津と多摩川河口を結ぶラインの北側で 2ml/l 以下の貧酸素水塊が広く分布しており、湾奥部に分布の中心がみられていました。

湾奥の底層部や深堀部では、すでに硫化水素臭を伴う無酸素水塊が発生していました。これから、気象条件(北寄りの風が続く)によっては、青潮が発生する危険性が継続しますので、注意が必要です。なお水産総合研究センターでは溶存酸素量 2.5ml/l (酸素飽和度約 50%) 以下を貧酸素水としています。

表1. 主な調査点の水質調査結果 (表層)

調査年月日: 平成17年7月5日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層の DO (ml/l)	無機態窒素 (μg/l)	リン酸態リン (μg/l)	アンモニウム態窒素 (μg/l)	クロロフィルa量 (μg/l)
船橋	1.9 (1.2)	24.1 (25.5)	28.76 (26.40)	8.3 (8.6)	0.2 (3.0)	238 (276)	54 (14)	119 (73)	10
st.15	1.5 (1.3)	25.2 (25.5)	26.53 (26.59)	8.6 (8.7)	0.1 (1.7)	414 (170)	36 (13)	60 (47)	33
st.3	1.3 (1.5)	23.8 (25.2)	25.41 (27.39)	8.6 (8.7)	0.2 (1.0)	567 (159)	57 (41)	37 (46)	79
st.6	0.9 (1.6)	23.9 (24.7)	19.09 (27.64)	8.6 (8.7)	1.7 (1.8)	1,057 (192)	75 (13)	199 (68)	99
st.9	3.2 (2.2)	22.8 (23.9)	31.12 (30.06)	8.4 (8.6)	2.0 (3.1)	120 (124)	15 (8)	55 (27)	7
盤洲Cブイ	1.2 (1.9)	23.1 (24.8)	30.65 (29.02)	8.5 (8.6)	2.4 (2.5)	40 (132)	10 (12)	32 (47)	40
st.8	1.4 (2.0)	24.5 (24.0)	30.73 (29.99)	8.5 (8.6)	1.5 (2.4)	115 (102)	14 (8)	42 (31)	23
盤洲Aブイ	3.5 (2.3)	22.4 (23.4)	32.20 (31.13)	8.4 (8.5)	1.6 (-3.7)	83 (50)	3 (3)	36 (18)	9
富津ベタ	5.0 (3.5)	22.6 (22.6)	31.06 (31.31)	8.7 (8.3)		130 (87)	8 (6)	44 (30)	11
第2海ほ下	6.0 (4.2)	23.0 (22.3)	31.57 (31.60)	8.7 (8.3)		105 (107)	11 (8)	35 (47)	4
st.31	12.0 (8.0)	21.6 (22.4)	33.99 (32.88)	8.3 (8.3)		67 (37)	4 (3)	19 (25)	9
st.23	18.0 (9.4)	22.3 (22.4)	34.19 (33.58)	8.4 (8.2)		29 (31)	2 (3)	22 (24)	2
st.1	6.0 (4.5)	21.2 (22.4)	32.55 (31.49)	8.6 (8.3)		(89)	(7)	(38)	
st.10 (下洲沖)	4.5 (3.5)	22.4 (22.7)	31.07 (31.48)	8.6 (8.4)		(69)	(7)	(38)	
st.12 (湊沖)	7.0 (6.5)	21.9 (22.8)	32.50 (32.82)	8.4 (8.3)		(29)	(3)	(22)	
st.22 (保田沖)	14.0 (7.4)	21.5 (23.3)	33.99 (33.08)	8.4 (8.3)		(33)	(2)	(21)	
st.24 (富浦沖)	16.0 (8.1)	22.0 (22.7)	34.12 (33.60)	8.5 (8.3)		(35)	(2)	(25)	
st.26 (館山湾内)									

( ) : 過去10年間の平均値 (ただし富津ベタは過去5年分)  
 ※透明度, pH, クロロフィルa量の網掛けは赤潮, DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示す。

### 黒潮の流路

7月8日付け一都三県漁海況速報によれば「黒潮流路は石廊崎南方 31°30' N 付近まで離岸した後、北東へ流れ、141° E を北上している。」とされており、伊豆諸島の遙か南を流れ、房総半島からはなれて東の海上を流去している模様です。

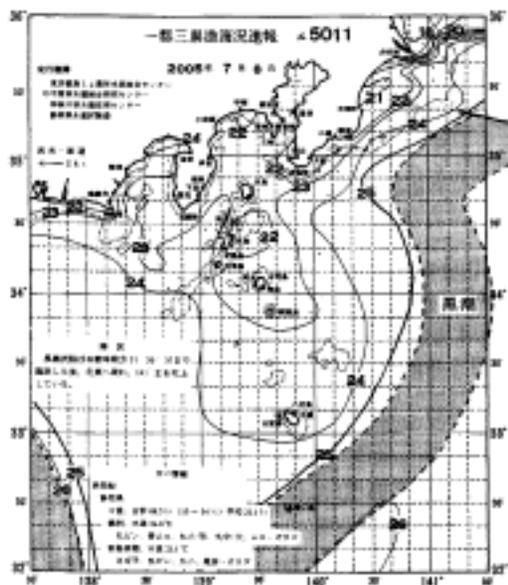


図7 黒潮の動き

### 「東京湾情報ボックス」

今回はこの欄でお知らせする事項はありませんでした。  
 皆様からのご連絡をお待ちしております。

連絡先は 水産総合研究センター、東京湾漁業研究所  
 漁場環境研究室まで

資料: 東京湾水質調査 (6/6 内房海域: 第二ふさみ丸, 内湾: わかふさ) の結果ほか、海上保安庁海洋情報部 (モニタリングポスト)、東京都環境局、ふさなみ観測資料、一都三県漁海況速報、東京湾口海況図の情報を利用して頂きました